

拉致被害者関係市連絡会の金正恩国務委員長へのメッセージ

拉致被害者の即時、全員の帰国を決断していただきたい

私たちは拉致被害者地村保志、富貴恵さんご夫妻が帰国された福井県小浜市、曾我ひとみさんが帰国された新潟県佐渡市、蓮池薫、祐木子さんご夫妻が帰国された新潟県柏崎市、3市の市長で構成する「拉致被害者関係市連絡会」です。

私たちは、曾我さんのお母様のミヨシさん、新潟県新潟市で拉致された横田めぐみさんを含む被害者の即時帰国、全員帰国を求めています。横田さんのお父様、お母様は拉致被害者を救うための運動の象徴的な存在ではありますが、御高齢であり、13歳で拉致された娘の帰国を願い、活動される姿は痛ましく、私たち日本国民は等しく気持ちを寄せております。

安倍晋三首相は「相互不信の殻を破り、次は私自身が金正恩委員長と直接向き合い、あらゆるチャンスを逃すことなく、果敢に行動いたします。北朝鮮との不幸な過去を清算し、国交正常化を目指します。」と本年1月28日の施政方針演説で述べられました。また、5月6日にアメリカのトランプ大統領と行った電話会談及び8月26日にフランスで開催された先進7カ国首脳会議において、「私（安倍首相）自身が金正恩朝鮮労働党委員長と条件をつけずに向き合わなければならない」と述べられました。

貴国による拉致被害者の即時、全員の帰国の実現。私たちの願いはこれだけあります。私たちは貴国との国交正常化に反対する意志はありません。ただ、40年以上も大切な家族の無事を祈り、再会を待ち続けている拉致被害者とそこご親族、日本国民の思いを想像していただきたい。私たちは安倍首相のご判断、メッセージを支持しております。最終的な機会であると考えております。私たちは、ここで金正恩委員長に「全拉致被害者の即時、全員の帰国を決断していただきたい」と強く訴えるものであります。

金正恩国務委員長 殿

2019年9月30日

新潟県柏崎市長

櫻川 雅浩

新潟県佐渡市長

三浦 甚敏

福井県小浜市長

松崎 晃治